

里山グループ



景観グループ

◆今里山で繁茂する笹（ササ）の話

池田 信明

先日、里山の部分皆伐地区の笹刈りを半日実施したが笹の茂りにビックリ、休息している時、フト頭をよぎったのが笹の寿命のこと、花が咲くと枯れると聞いたことがある。伐採跡の植樹エリアが広がり林内に多くの日光が注ぐことで笹が茂り、今の笹に花が咲き枯れるのは60～120年後(不定期)に1度となれば、笹の花や、笹枯れ現象の観察はかなわないが、「笹」についての面白情報を少々ご紹介、受け売りですが。

「笹」と「竹」は見た目が似ていて同じ「単子葉植物イネ科タケ亜科」に属する植物群ですが、「笹」と「竹」は全く別の植物なのです。笹や竹がイネ科に属する理由は、咲いた花がイネの花によく似ているからとか。



*竹と笹の違いは。

- ①：竹は成長すると皮（鞘）は取れて落ちるが、笹は成長しても皮（鞘）は枯れるまで落ちず残る。
- ②：竹は節毎に出る枝は2本ずつ、笹は節毎に3本以上出る。
- ③：寿命は花の開花時期と同じ、竹の地下茎は60～120年、地上に出る竹の子は8～10年、笹は60～120年、竹も笹も開花すると枯れる。
- ④：竹は中国原産が多い（孟宗竹は250～300年前に日本に渡る）、笹は日本原産の植物で英語訳でも（S a s a）と表記される。
- ⑤：笹はクロロフィルを豊富に含むため、高い殺菌、防腐作用を持ち、笹団子やちまきなどを包むのに使う、また料理の敷き葉などに使われた。笹は日本人の日常生活に昔から深く根ざした植物、七夕の笹の葉飾りに利用したり、縁起の良いものとして利用したりされてきた。
- ⑥：笹の花言葉「ささやかな幸せ」。

◆草刈り隊のおじさん！ よろしく！

木村 裕

私は「ならやま」のツリガネニンジンです。ご存じですか？ 秋になると彩の森の片隅で青紫色の釣鐘型の花をいっぱいぶら下げて咲かせ、皆さま方に秋の風情を楽しんでもらっています。

しかし最近、仲良しの仲間たちがだんだん少なくなってきています。昨年まで近所で咲いていた別嬪さんも今年は姿を消してしまいました。仲間が減るのは寂しいですね。

直接的な原因は草刈り隊のオジサン方の勤勉な働きのせいです。夏に生い茂



った雑草（この言葉は私たち野の草花に対して失礼ですね）を少しでも減らそうと頑張っておられ、丈の高い草花がバツサリと根元から刈り取られます。私たちもやっと草丈が50cmとなりこれから花をとというときにとぼっちりを受けています。

早春に花を咲かせる草丈の低いオオイヌノフグリさん、タンポポさん、ホトケノザさんなどはいつも思う存分に手足を伸ばしているようであらやましいかぎりです。

最近、ワレモコウさんと同じようにのんびりと昼寝ができる安全地帯を一席設けてもらったようで感謝しています。もっと増やしてください！お願いします！

でも、好き放題に暴れまわっている丈の高い笹など刈り取ってくれると、彼らの間で埋もれていた仲間たちにも太陽の恵みが届くようで、悪いことばかりではなく、良いこともたくさんあります。